



さわやか通信



半田山古墳群(E9号墳)の発掘調査について



発掘前の調査区の様子

とH駐車場の一角にあたり、古墳の墳丘部分はすでに削られていたため、調査区の中に古墳本体が収まっているのか、入っていてもかなり痛んでいるのではないかと危惧しながらの調査開始となりました。

それから約1か月、想像以上に立派な円墳が姿を現しました。この古墳は西暦600年前後、D16号墳より半世紀ほど古い築造と考えられます。

通常、石室の周りを一周するように巡らせてある周溝は、東側だけに掘られ、北側の谷に向かって延びていると思われませんが、幅約2m、深さ約70cmと大変立派なもので、排水路としての役割を十分に果たしていたと考えられます。

また、石室内からは石室の壁に使った角ばった石、刀の鏢(つば)、鉄製の鏃(やじり)、水晶製の切子玉、周溝内からは多くの土器(土師器・須恵器)が出土し、貴重な

動物実験施設南側のD16号墳の調査に続いて7月1日から光量子医学研究センター西側のE9号墳を発掘調査しました。E9号墳は、植え

資料を得られました。

私たちは、今調査の成果を調査事務所に持ち帰り、土器の接合・復元を始めとする整理作業や報告書の作成に取りかかります。今回の調査を通じて関係者の皆様には、いろいろとご迷惑をお掛けしたことと思いますが、大変好意的に私どもの調査活動を見守っていただき、本当にありがとうございました。改めてお礼申し上げます。なお、現地の調査事務所は、30日(木)をもって撤収いたしました。

(財)浜松市文化振興財団・浜松役所文化財担当課



E9号墳の全体の様子



長さ2cmの水晶製の切子



古墳の石室内の様子

「北枕」考

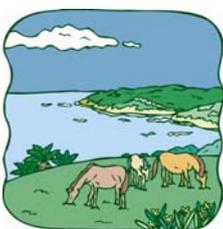
最近入院患者さんに、「北枕の方が熟睡できるのですが、縁起が悪いというのはなぜですか?」と聞かれました。以前にも同様のことを何回か質問されたことがあります。体調が悪いときには北枕の方がよく眠れるという方もみえました。

「北枕」とは、お釈迦様が死ぬ時、頭を北に顔を西に向けたことにはじまると云われています。お釈迦様が北向きで亡くなったことだけが取り上げられ、“死んだ人はお釈迦様と同じ北枕”これが“北枕は死んだ人”となって“北枕にすると縁起が悪い”と語り継がれるようになったらしいのです。一方、このところ流行の風水では、自然界では北の方角からエネルギーが放出されているので、それを受けとめるには「北枕」が最も理に適った寝方で、運気がとても上がると言われています。

にして寝ることが多く、それは脳内に比較的鉄が多いため地球の磁場に影響されているからですか?と質問されたことがあります。体内の鉄は総量約4gで、赤血球に2g、肝臓に1gあり、残りが体内の各組織にびまん性に分布しています。確かにその中では脳が重量当たりの鉄含量が最も多い臓器です。もし本当に家畜が北枕(実際、枕はしません)で寝ているとすると磁場に沿っているのかもしれませんが、と答えたことがあります。するとその後、同じグループが世界各地の家畜の寝る方向を調べて『家畜は頭を北にして寝る』という論文をトップジャーナルのScienceに発表しました。研究のヒントはちょっとした会話の中にもあるものです。

人が大きな磁石だと考えると、南北方向に寝るのは地球の磁場の中では自然なのかもしれません。そうすると「東枕」や「西枕」では体調が変わるのか、「南枕」はどうなるのかなど考えすぎて眠れぬ夜が続きます。さて、皆さんはどう思いますか?

(第一内科、宮嶋裕明)



以前、鉄代謝の国際会議で脳内の鉄について発表したところ、畜産学部の先生から「牛や馬などの家畜は頭を北

～趣味の園芸から学ぶ～

趣味という程ではないが園芸に以前より興味があった。しかし今までは住居環境から実際に行くことはなかったが、最近ある不動産会社が開発した整備された住宅地の家屋を借家として住むことになり、所有者が海外赴任している間、その庭の維持管理をすることとなった。

時期ごとにお花が咲くように計画的に樹木が植えてあり芝生が広がっている。そこで早速小さな芝刈り機や枝払いの機器を購入して休みごとにいそいそと庭仕事をする事となった。皮膚科医である私は、日焼けして月曜日の外来をすることは出来ないため厳重に日焼け止めクリームを塗り、また虫除けを吊るしなからの作業となった。芝生がきれいになり枝もすっきりと払われた庭を見て自己満足感と心地よい疲労感に浸りながら1歳半になる子供を連れて、開発されたきれ



いな住宅地に並ぶいろいろな家や庭を散歩しながら見ていると、今まで目に入らなかった他人の家の庭に生える雑草がとても気になり始めた。とても立派な家とぴかぴかの外車が並んでいるのに庭に無造作に雑草がたくさん生えているととてもがっかりとした気分になる。家や車とともに庭もかわいがってあげてほしいなあと考えてしまう。また、この不況の影響か稀に主人がいなくなり管理されていない家があることに気付いた。

放置された家が雑草で覆われていて治安としても不安だ。なんとなく悲しい気分になる。庭や鉢植えがきれいにされた家がならんでいるとその立派な住宅地がよりいっそうすばらしい雰囲気となる。来週も庭仕事にいそしもうと思うのだが、皮膚科専門医としては**毒牙皮膚炎や日焼けとの戦い**でもある。最近多い虫さされ患者を目の前にして人ごとではないと思う日々である。
(皮膚科 伊藤泰介)

『輸血医療を支える』

近年、輸血の事故に関する報道が全国各地から相次いでおります。ほとんどは**患者誤認などの初歩的なミス**によるものばかりです。我々、輸血・細胞治療部では一貫して輸血業務の安全の確保に努めて来ましたが、安全な輸血のために、ガイドラインの作成や輸血過誤防止策の院内スタッフへの周知徹底を図ると共に、血液型、不規則抗体、交差適合試験などの輸血検査の自動化、輸血管理システムを導入し、多重的に人為的過誤の防止を図っています。

ところで、**日本赤十字社血液センターから供給された血液製剤の品質は、保管状態が適正でないとして著しく劣化してまいります。**製剤ごとに温度条件や有効期限などが異なっているため、警報装置が装着された冷蔵庫や冷凍庫に血液製剤を保存することが必須となります。**輸血細胞治療部内の血液は、24時間、自動温度警報装置と目視で安全に保管されています。**温度条件が一定の範囲から外れた場合には、速やかに血液製剤を他の冷蔵庫などに移しかえるなど、血液の品質が劣化しないようにする体制が整っています。臨床側に安全に血液を使用していただくための継続的な努力です。**この努力を是非ともご理解いただき、血液製剤は、保存方法や取扱方法を守り使用していただきたいと思っております。**

臨床を支援する部門として、「安全で適正な」輸血医療が行われるよう、新病棟に移動してもよりパワフルに稼働してゆくつもりです。よろしく申し上げます。(輸血・細胞治療部 金子 誠)

新MEセンターについて

標記の通り、MEセンターが移動する。現センター(面積:43.2m²)を査察に訪れた、KR省の担当官やIR評価機構の担当者が、笑止千万と**あぐりしたほどの狭小さ**であったが、横幅18、縦6メートルとウナギ部屋ではあるが、**2倍程度のスペースとなる(108m²)**。“ああ、相互訪問に訪れたKS大がうらやましい”と嘆いても仕方がない。この狭小のスペースに貸出管理装置と貸出機器のストックを納め、修理・点検やミーティングの出来る小スペースなども配慮した自慢の設計である。現MEセンターも継続して使用させてほしいのが正直なところではあるが、

位置は手術部の真下、材料部の隣、ちょうど職員エレベータを地階に下りて、回れ右すると到着する。地階故、24時間、日の光は望めないが、明るい照明はせめてもの救いである。

さて、運用であるが、**現システムからの変更は特にない。**取り立てて言うなら、入室のカギが、病院他の部署のそれと共通するフェリカ擬きになるぐらいであろうか。現在、各病棟に貸し出しているカギに代わり、承認資格を持つ職員は自由に入室し、機器を借り出す事が出来る。承認資格は申請により取得できるので、依り便利になるであろう。

業務内容は現状を維持する。24時間対応では無いのか、呼吸回路の取り付けをその都度立ち会ってほしい、こうした業務の代替は出来ないか、など数多くの要望を受けているが、現MEセンターはそれら要請に答えていない。

表は国立大学法人34施設の人員数の頻度分布である。最低の人員数である7から9名の施設が5施設であり、最大の33から35名を有する施設が3施設ある。不等正規分布(F分布に近い)を示し、中間値が全国国立大学法人の代表値(13名)と考えられるが、本院は8名で最低クラスに属する。また、この数は臨床工学技士資格を有するもののみを数えていることに注意しなければならない。他校の中には資格を有しないスタッフを、別途MEセンターにおける修理・点検要員として相当数を有するとのことである。

新MEセンターの卓越した業務内容を有するに足る要件は自ずと理解されよう。
(医療機器管理部副部長: 森田耕司)

